「この人 74」　　**壽命秀次** 69歳 群馬県

**編集部**　俳句を始められたきっかけは？

**壽　命**　平成十八年にＴＢＳラジオの森本毅郎さんの番組で、気象予報士の方が、石原裕次郎の命日の七月十七日頃に降る雨を「裕次郎雨」という季語にして、俳句を募集するという企画がありました。「裕次郎雨傘売る人の無口なり」の句で応募したところ秀逸に選ばれ、「俳壇」にも掲載されまして、以来、投句をするようになりました。

**編集部**　滑稽俳句を始められたきっかけは？

**壽　命**　同年、「俳壇」の「微苦笑俳壇」に投句した「秋茜群れ飛び交ふに事故なしや」が特選に選ばれ、毎月、投句をするようになりました。

**編集部**　俳句における「滑稽」とは？

**壽　命**　ユーモア、ペーソス、擬人化、誇張などが交り、自然と笑みのこぼれるもので、心の緊張を解きほぐす効用もあります。

**編集部**　滑稽俳句を続けていて良かったことは？

**壽　命**　お堅いと言われる職場に四十年勤め、第二の人生を送り始めて間もなく、俳句に出会いました。脳みそをありったけ軟らかく使い、楽しく生活しています。然し、なかなか進歩しませんで、アナログのままです。

**編集部**　滑稽俳句を作るコツは何でしょうか。

**壽　命**　多角的に視点を変えて事物を観察し、真実を見ようと努力することでしょうか。

【代表句】

秋茜群れ飛び交ふに事故なしや
啓蟄に大腸検査より凱旋
裸婦像の乳房ばかりに降りる霜
猛暑にも耐へて動かず信玄像
稔っても頭は絶対垂れぬ麦

掲載の記事・写真・イラストなど、すべてのコンテンツの無断複写・転載等を禁じます。